



柴田 智子 (ソプラノ)

Tomoko Shibata

クラシックというジャンルを超え「今を生きる喜び」を、歌で世界に発信する。

青山生まれ、音楽教育の本拠地はNY マネス音楽大学、ジュリアード音楽院 (NY) に学び、リンカーンセンター、カーネギーホールなどでオーケストラと共演やオペラのタイトルロールを歌い、ニューヨーク・タイムズから高い評価を受ける。永住権を取得した後ミラノに留学し、バーンスタイン等のアメリカ音楽をイタリア各地のオーケストラとの共演、オペラでは「ランメルムーアのルチア」「リゴレット」「ドン・ジョバンニ」等多数のオペラのタイトルロールを歌い、新国立劇場主催のオペレッタ「こうもり」にも出演。蜷川幸雄氏のミュージカルに出演したり、世界に名だたる弦楽四重奏団《クロノス・カルテット》や《バラネスク・カルテット》とも凱旋し、新日本フィル、読売交響楽団、東京交響楽団、スマップ、浅倉大介、ラッセル・ワトソン等と共演。東芝 EMI と専属契約を結びリリースしたビートルズ・イン・クラシック「LET IT BE」は世界的な反響を呼び、今までに7枚の CD をリリース。その中で PLAY STATION2 の「天誅」のタイトル曲の作詞も手がけ世界発売される。すべての経験を原動力として、世界中の心に届くメロディーを集めて歌い続けている。プロデュースしたアーティストはメジャーデビューを果たし、プロデュースコンサートシリーズも数多く、キューピープレゼンツ「サラダ記念日コンサート」は10年連続。

NHK / 日本テレビ / テレビ東京、ラジオは NHK / FM 東京 / J-WAVE 等に出演。FM NACK5 では 6 年に渡り音楽番組のパーソナリティーを勤め、そのマルチな才能を発揮している。

チャリティーコンサートにも力を注ぎ、同時多発テロの現場経験者として 10 年間チャリティーコンサートを続けた。東日本大震災後「SONGS FOR HOPE」のチャリティーコンサートを立ち上げ子供達への将来にドネーションを続けている。国連の心のケアプログラムや世界の女性の尊厳を話し合うコンフェランス等で歌やスピーチを披露し、女性が輝くための活動にも携わっている。2013 年、東日本の子供たちの為に「For your tears and smiles」を制作しリリース、被災地の子供たちに届ける。二期会会員、東京室内歌劇場会員、昭和音楽大学講師。自由が丘オペラハウス代表。

【公式サイト】 [http:// www.tomokoshibata.com](http://www.tomokoshibata.com)

●伊藤郁馬 (ピアノ)

東京音楽大学ピアノ科卒業。同研究科ピアノ伴奏者コース修了。第 48 回全日本学生音楽コンクール高校の部、東京大会入選。第 21 回ピティナピアノコンペティション コンチェルト部門上級全国決勝大会入選。第 8 回日本クラシック音楽コンクール 大学の部全国大会第 3 位入賞。

これまでにピアノ及び伴奏法を武田真理、御辺典一、広瀬宣之、土田英介の各氏に師事。

作曲、ジャズピアノをブルース・スターク氏に師事。現在、バレエ、歌曲、オペラを中心に、伴奏活動をしている他、市民ミュージカルへの楽曲提供など作編曲も行っている。